

時代に即した地域サプライヤー群の育成を目指して

自動車産業は100年に一度の大きな変革期を迎えています。「CASE」(ケース)と呼ばれる、“コネクティッド”、“自動化”、“シェアリング”、“電動化”を中心とする技術革新により、クルマの概念、競争関係、競争ルールが大きく変わろうとしています。群馬県にとって自動車産業は、製造品出荷額の約4割、県内総生産の10%以上を占める県内最大の産業です。SUBARUや日野自動車等のメーカー企業に加え、国内外の関連企業に部品を供給する自動車サプライヤーが集積しています。自動車産業を巡る大きな潮流の変化を受け群馬県は2021年4月、公益財団法人群馬県産業支援機構に「自動車サプライヤー支援センター」を設置しました。

目的

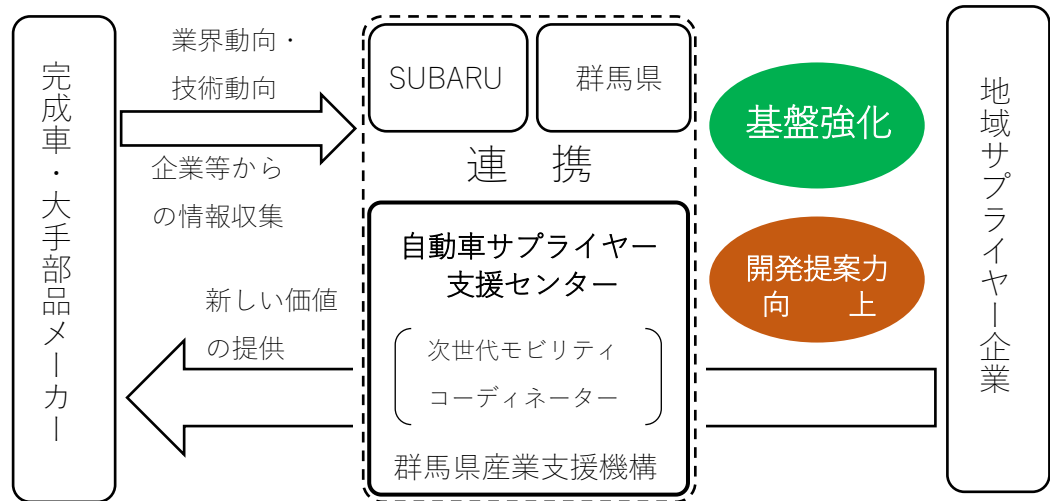
CASEをはじめ自動車産業が大きな変化を迎えるなか、自動車サプライヤー支援センターは、時代に即した地域サプライヤー群の育成を目的に設置しました。

目標

自動車サプライヤー支援センターは、基盤強化や開発提案力向上への支援を通じて、新しい価値の提供に向けチャレンジする企業変革力のある企業の育成を目指します。



スキーム



事業

【令和3年度】

- ① 地域サプライヤーの基礎調査
戦略領域の見極めに向けた、地域サプライヤー企業の基礎調査
- ② 最先端情報の発信
カーメーカーの視点と県内企業ニーズを踏まえたセミナーや講座
- ③ デジタル分野の人材育成
生産や開発分野におけるデジタル技術の活用支援

連絡先

自動車サプライヤー支援センター 公益財団法人群馬県産業支援機構

Tel : 027-265-5015 Fax : 027-265-5075

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 884-1 群馬産業技術センター 1 F